

令和8年度事業計画書

令和7年は、「大阪・関西万博」が開催され、国内外から多くの方でにぎわい、盛況のうちに終幕しました。また、石川県では能登の創造的復興や北陸新幹線の効果を最大限に引き出すための取組により、国内旅行や訪日旅行を中心に賑わいを取り戻し始めており、本市においても、市政20周年の節目となり、「いいとこ白山あさがおマラソン」や「全国山城サミット白山大会」など様々な事業を展開するなど、白山市の魅力を内外に広く発信した年でありました。

さて、近年の観光を取り巻く状況は大きく変化しており、観光需要の回復基調にある中、国内旅行の活発化に加え、インバウンド需要も増えてきている一方、旅行者のニーズは「団体から個人へ」「通過型から滞在型へ」「モノ消費からコト消費へ」と変化しており、地域ならではの体験やストーリー性が強く求められています。

(一社)白山市観光連盟では、これらのニーズを踏まえ、他地域に誇れる観光資源がある白山市ならではの旅行商品の開発や販売、首都圏等への宣伝活動など積極的に実施してきたところです。

今年度も、「白山手取川ジオパーク」をベースに、訪日外国人の地域分散化によるインバウンド対応、教育旅行も含めた体験型・滞在型観光商品の開発・販売、デジタル発信の強化など、継続性のある様々な事業に取り組んでまいります。

今後も「観光地域づくり法人(DMO)」として、行政・事業者・地域の方々と連携を深め、地域資源の磨き上げと受入体制の充実に努め、観光振興を通じた地域経済の活性化に取り組んでまいります。

【重点的な取組】

(1) 地域の魅力を効果的に情報発信するための取り組み

- ① 本市のシンボルである霊峰「白山」の魅力を国内外に発信する。
- ② 「鉄道のまち」の知名度を上げるため、新幹線技術を体感できる「トレインパーク白山」を魅力ある観光地として発信する。
- ③ 観光資源として、地域ならではの伝統的な工芸品、祭り、食文化や地域イベントなどを支援し、交流人口の拡大を図る。
- ④ デジタル技術やデータの利活用による観光DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。
- ⑤ SNSを活用した情報発信を行う。

(2) 観光客受入環境に関する取り組み

- ① プラットホーム機能の充実に図り、新たな着地型旅行商品を開発し、積極的な販売を行う。
- ② 観光ガイド人材の育成・拡充や観光事業を担う人材のレベルアップに努め、受け地での魅力アップを図る。

- ③ 観光拠点施設の利用状況やニーズを調査し、来訪客に対する継続的なデータの分析を行い、観光マーケティング戦略を実施する。
- ④ DMOとして、その役割を果たすべく自主的・継続的に活動するため、多様かつ安定的な運営資金の確保を図る。
- ⑤ ご当地グルメや名物となるお土産、伝統工芸品等の商品等地域滞在コンテンツ開発事業と販売事業を行う。
- ⑥ 鉄道総合車両所・トレインパーク白山等を活用した「ものづくりの心」にふれ、学び、体験する「産業観光」に取り組む。
- ⑦ 観光拠点への誘導を図るため、道の駅での情報発信に努める。
- ⑧ 教育旅行をはじめとした体験型・交流型の旅行受入形態の充実に努める。
- ⑨ 能登半島地震を教訓として、災害などの危機にも対応できるよう安心・安全な観光の取り組みをより一層推進する。
- ⑩ ユニバーサルツーリズムを推進し、受入環境を整える。

(3) 自然や歴史のブランド力向上の取り組み

- ① 白山手取川ジオパークの自然資源や地域遺産の保護・保全などの取り組みを支援するとともに観光・ジオツーリズムの推進を図るため、ユネスコ世界ジオパークの魅力を国内外に向けて強く発信する。
- ② 白山ユネスコエコパークの普及活動に努めるとともに白山の自然や文化を伝える取り組みや活動を支援する。
- ③ 自然や歴史遺産をはじめ、観光拠点のブランド化に向け、各種関係団体と連携を深め、地域ぐるみの活動を盛り上げるとともにPR活動を展開する。
- ④ SDGs（持続可能な開発目標）への観光による貢献を目指す。
- ⑤ 特産品や地元食品などを販売する事業者等と連携し、観光拠点内での販売、観光PR会場での販売、宣伝を行い、地元産品のブランド力の向上を図る。
- ⑥ 「発酵のまち白山市」を全国に発信し、白山市の発酵食品のさらなる魅力向上を図る。

(4) インバウンド・広域観光への取り組み

- ① インバウンドの分散化を踏まえた誘客事業を促進するとともに、観光パンフレットや観光サイトの多言語化を図り、多言語での情報発信と外国人へのおもてなし力のさらなる向上を図る。
- ② サイクリングによるインバウンド誘客を推進する。
- ③ 近隣自治体と連携した観光プラン、周遊ルートの作成など広域観光の旅行商品の開発を行う。
- ④ 環白山広域観光推進協議会やオール加賀会議などと連携したイベントの開催により誘客を促進する。

■DMO登録必須K P I

観光地域づくり法人（DMO）として、登録必須K P I（重要業績評価指標）となっている「旅行消費額」「延べ宿泊者数」「来訪者満足度」「リピーター率」の目標値を設定し、達成に向けた各種事業を実施しています。

令和8年度以降、必須指標が新たに追加されました。今後も、目標値の達成に向けた様々な事業を実施することで、会員事業者をはじめ地域経済の活性化と基盤強化を図り、持続可能な地域づくりを行っていきます。

【DMO設定目標値・実績】

（ ）内は外国人観光客に関する数値

項 目		2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年
旅行 消費額 (百万円) ①	目標	60,000 (-)	60,000 (-)	60,000 (-)	70,000 ()	72,500 ()	75,000 ()
	実績	55,713 (-)	68,149 (-)	※1 (-)	— (-)	— (-)	— (-)
延べ 宿泊者数 (千人) ②	目標	130 (2)	180 (2)	190 (2)	200 (3)	210 (4)	220 (5)
	実績	166 (2)	173 (2)	145 (3)	— (-)	— (-)	— (-)
来訪者 満足度 (%) ③	目標	90 (-)	90 (-)	90 (-)	90 (-)	90 (-)	90 (-)
	実績	89 (-)	86 (-)	81 (-)	— (-)	— (-)	— (-)
リピーター率 (%) ④	目標	60 (-)	70 (-)	72 (-)	73 (-)	74 (-)	75 (-)
	実績	71 (-)	72 (-)	70 (-)	— (-)	— (-)	— (-)

※1 石川県統計書が秋頃公表のため未記入

○令和8年度以降、新たに追加設定されるK P I（重要業績評価指標）

項 目		2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年	2028 (R10)年
一人当たり 旅行消費額 (千円) ⑤	目標				17 (-)	18 (-)	19 (-)
	実績				— (-)	— (-)	— (-)
持続可能な観光 に対する住民満 足度 (%) ⑥	目標				50	55	60
	実績						
月別来訪者 平準化 (%) ⑦	目標				20	21	22
	実績						
観光事業者の 平均給与額 (千円) ⑧	目標				3,000	3,300	3,600
	実績						

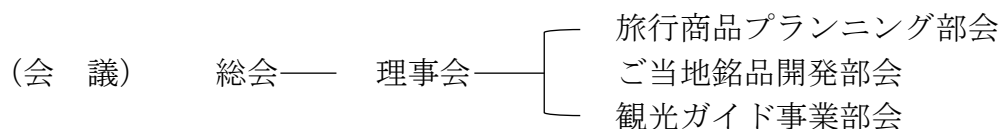
1 組 織

(1) 会 員 2 9 5 団体 (令和 8 年 3 月末現在)

(2) 役 員	理 事 長	1 名
	副理事長	3 名
	専務理事	1 名
	理 事	1 2 名
	監 事	1 名

(3) 事務局	専務理事	1 名
	事務局長	1 名 (市派遣)
	事務局員	4 名

(4) 組 織



2 支出科目別事業の説明

1 管理費

(1) 職員人件費

観光連盟を運営していくための事務局員人件費

専務理事 1 名、事務局員 4 名

(2) 会計労務事務委託費

決算書類、税務申告等の会計業務及び労務関係業務に係る業務委託費

(3) 事務所経費

総会・理事会等会議費、通信費、出向販売諸経費、自動車管理費、租税公課費等の事務局運営経費

(4) 経常広告費

観光情報発信のため、毎年実施している新聞広告や石川県観光連盟観光情報誌への掲載費用

(5) ホームページ保守管理費

【公式】白山市観光・旅行情報サイト「うらら白山人」の年間維持管理費

- (6) 各観光協会補助金
各観光協会が地域の観光振興のために実施する事業の補助金
白山吉野谷観光協会 白山鳥越観光物産協会
白山一里野温泉観光協会 白峰観光協会
- (7) 観光パンフレット増刷費
既存のパンフレットを修正・増刷する費用
感得の旅パンフレット 外2種類
- (8) 観光地域づくり法人（DMO）各種調査費
DMOの登録・維持に必要なデータ収集・分析等の業務委託費

2 事業費 1) 自主事業費

- (1) めぐみの白山ふるさと便事業
白山市の旬の特産品を年3回全国へ向けて販売発送する。
商品は1万6千円で販売
- (2) 物販出向販売事業
白山市の観光及び特産品のPRを目的に首都圏等のイベントに参加し、物品販売を行う。
首都圏誘客キャンペーン事業、各イベント等 7か所
- (3) 白山白川郷ホワイトロード利用促進助成事業
白山温泉郷等の市内宿泊施設に2名以上宿泊した場合に、通行料の片道分をキャッシュバックする。
負担割合 県60%、市24%、宿泊施設16%
- (4) レンタサイクル事業
観光連盟事務所で鶴来観光に訪れた観光客へ電動アシスト自転車やクロスバイク等自転車の貸し出しを行う。レンタサイクルの管理費及び新車購入費など。
電動アシスト自転車 14台保有 貸出料 1日800円～1100円/台
シティーサイクル 6台保有 貸出料 1日500円/台
クロスバイク 8台保有 貸出料 1日500円/台
- (5) 着地型旅行商品販売事業
ガイド付団体旅行商品「みそぎ体験」、「まち歩きジオツアー」など着地型旅行商品を催行し、白山市へ観光客を呼び込むとともにPRを行う。
- (6) 事業部会活動費
各部会等が行う活動事業に対する経費

(7) 鶴来「横町うらら館」運営事業

鶴来「横町うらら館」の管理運営と鶴来秋祭りの無料休憩所の開設を行う。

(8) 発酵食品ブランド化事業

白山市の発酵商品に統一のストーリーやイメージを持たせ、ブランド化を図り、ホームページにより積極的な情報発信を行い、販路拡大をめざす。

(9) 観光地域づくり法人（DMO）形成・確立事業

DMO形成・確立のための広域連携推進事業や、研修会開催に伴う経費

(10) トレインパーク白山運営事業

観光連盟が運営するトレインパーク白山内の観光情報おみやげエリアに係る事務経費、観光ガイド等の運営経費。

(11) ユニバーサルツーリズム推進事業

市内を訪れる高齢者や障がい者が安心して観光できる旅行商品を造成し、販売体制を整える。

(12) インバウンド対応事業

外国人向けに、掲示板や様々な体験チラシ及びデータなどを英語化する。

(13) 滞在コンテンツ開発事業

来訪者を増やし、長く滞在してもらうため、市内のフォトスポットマップを制作する。

2) 市委託事業費

(1) 金沢市観光連携事業

金沢市との観光連携事業として、「金沢から白山へ」という動線をさらに強く打ち出し、北陸鉄道石川線の利用を促進するための事業やアウトドア・アクティビティを活かしたツアーの実施を行う。（事業費は、両市で折半）

(2) 観光誘客プロモーション事業

首都圏において観光ブースや食を通した白山市のプロモーションを展開することで、知名度向上やイメージアップを図り白山市への誘客に繋げる。

- ・大新宿区まつり
- ・いしかわ県人祭 in 東京・大阪

県をはじめ加賀白山地域や環白山地域などの広域連携により、関西・中京・首都圏及び東北等へ市の着地型商品をPRし、効果的な誘客促進を図る。

- ・ツーリズムEXPOジャパン 2026 東京
- ・加賀越前広域観光推進協議会広報宣伝活動（東京）
- ・環白山広域観光推進協議会広報宣伝活動（東京）

- ・加賀地域連携推進会議（オール加賀）広報宣伝活動（首都圏）
- ・「ほっと石川」広報宣伝活動（東京）
- ・北陸観光PR会議（東京）
- ・石川県観光連盟主催 北陸三県観光商談会（首都圏）
- ・北陸地区観光商談会（首都圏、関西圏）

（３）プロモーションツール整備事業

観光PR・誘客のためのノベルティグッズを製作する。

（４）「うらら白山人」秋祭開催事業

白山比咩神社で恒例となった秋祭「どんじゃら市」を開催し、白山市の山から海までの特産品と白山比咩神社観光をPRする。

（５）観光ガイド事業

個人旅行者や旅行業者からの依頼を受け、観光ガイド業務を観光連盟登録ガイド（６４名）へ委託する。また、各地区ボランティアガイド団体に対して運営補助を行う。

美川おかえりの会 加賀白山ようござった
ウエルカム白山 NPO 法人白山しらみね自然学校

（６）観光事業を担う人材育成事業

市の魅力きちんと伝え、さらなる誘客につなげられるような人材を育成するため、登録ガイドや観光事業者を対象に講座を開催する。また、「いしかわ観光創造塾」の受講費補助を行う。

（７）中宮魅力体験塾事業

「青少年の健全育成を目指した、交流のある里づくり」を基本方針に、中宮地区の魅力を活かしながら、学校などでは体験できないメニューを設定し、観光振興に沿った感得体験プログラムの造成につなげる。

（８）美川・鶴来街なか観光事業

美川観光物産協会から継続している“おかえり祭り”を活かした観光誘客のためのポスターの作成や、美川あさ市並びに小舞子海水浴場海開きなどの観光PRを行う。

また、鶴来地域においては、ほうらい祭りや鶴来の歴史についてのミニ講演会を実施し、観光誘客につなげる。

（９）インバウンド対応事業（情報発信）

市の公式観光サイト「うらら白山人」を外国人により伝わりやすいようにリニューアルする。

(10) 白山検定事業

地域への認識の向上と愛着を深めてもらうことを目的に、引き続き第10回「白山検定」を実施し、市民のおもてなし力の向上を図る。

(11) 着地型旅行商品開発事業

「全国山城サミットイン白山」で高まった城址めぐりの気運を逃すことの無いよう、「はくさん城跡めぐりデジタルスタンプラリー」を継続する。

(12) 一里野温泉イルミネーション事業

一里野温泉スキー場に1万個のLEDイルミネーションを設置し、観光誘客を図るとともに、夏場の着地型旅行商品やイベントを活用した観光商品を販売する。

(13) 恋人の聖地事業

恋人の聖地観光協会への恋人の聖地事業に係る年間企画運営費及びキャンペーン経費の負担金

(14) 観光誘客イベント事業

いいところ白山鉄道まつりや八重洲いしかわテラスでの各種イベントを実施し、幅広い誘客を目指す。